

日本国民への警告

現在の日本国民は、孝明天皇を暗殺し、山口県熊毛から明治天皇を擁立させた権力者の血筋で、「太いものには呑まれ、長いものには巻かれよ」の権力風土の中で誕生した内閣が、憲法第九条の改正を唱え、「美しい国造り」をスローガンにしたのでは、決して、神佛がお認めになるでありませんか・・・？

全人類の象徴、太元帥明王のお姿を秋篠寺の井戸に映し、小栗栖の常暁に、見せられた秋篠寺から、秋篠宮を名乗らせた宮家に、孝明天皇の御靈魂を蘇らせに成られたのが、今年9月6日悠仁親王さまの誕生で御座いました。

この神霊界の仕組みを知ることなく、神佛の御意志を蔑ろにして、憲法第九条を改正して、戦争の出来る国造りを美しい国造りと言うのでは、神佛のご加護を戴くことが出来ず、世界人類の悲劇の筋書きに従い、今度は核戦争の戦場となる恐ろしさを、昭和天皇の大喪の礼の時に、神佛はNHK総合テレビを通して私(加古藤市)に既に予見されています。

60年前に広島・長崎に原爆を頂き「二度と戦争をしない」と神佛に誓った日本国が、憲法第九条を改正するのでは、神佛のご加護がいただけず、世界の悲劇の筋書き通りに、核戦争の戦場となる恐ろしさを知らねばならないのです。

そこには日本の安全も、世界の安全も保障されないのをごさいます。「美しい国造り」とは「戦争せぬ国造り」のことでございます。

今こそ、今上天皇の大御意志を以って、日本武尊が民草和氣の剣を納められた、熱田神宮の元宮、名古屋市緑区大高町日神山地内、尾張族が伊勢生成の神を、お祀りされた地に、全世界の戦争殉難死された御霊処として、世界平和神宮院と、日本国憲法第九条の生み親、昭和天皇を竝宮としてお祀りする、昭和神宮建設を以って、日本国憲法第九条を日本から全世界へ普遍し、神佛にお詫びをしなければ、日本国は許される事はないのをごさいます。

北朝鮮のミサイル発射も、この度の核実験も、日本国民の御霊に気付かせる、神からの大きなメッセージではないでしょうか・・・？

世界平和神宮院・竝宮昭和神宮を今上陛下の下に、日本国民こそって建立なして、世界恒久平和の為に活動く「戦せぬ美しい国造り」を以って、神佛にお詫びをしなければ日本国は救われないのでございます。

合掌

平成18年10月10日

三代目 東核芒種大伝道師 加古藤市